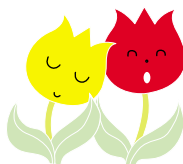


こちら 議会広報部

今回の主な内容

- ◆ 3月定例会 2～3P
- ◆ 委員会審査報告 4～6P
- ◆ 一般質問 7P
- ◆ その他 8～10P



2013.4 第33号

発行／周防大島町議会

〒742-2192 周防大島町小松126-2
TEL：0820-74-1003（議会事務局）

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／マツヤ印刷所



増築した橘斎場葬儀棟
(2013. 4. 2)

3月定例会

平成25年第1回定例会（3月定例会）が、3月6日から22日までの17日間の日程で開かれました。

議会初日、2日に、町長から施政方針ならびに議案の説明、補正予算の審議等を行い、25年度予算案と新規条例などは、所管の委員会へ付託審議としました。

13日には各常任委員会へ付託された事項について審議を行い、21日に一般質問、最終日の22日には、各常任委員長の報告の後、質疑・討論が行われ、最終日に提出された補正予算案1件等、全46議案をすべて可決いたしました。

条例の制定・一部改正&規約の変更

制定したもの

- ・周防大島町新型インフルエンザ等対策本部条例
- ・周防大島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例
- ・周防大島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
- ・周防大島町布設工事監督者の設置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例
- ・周防大島町道路の構造の技術的基準を定める条例
- ・周防大島町営住宅及び一般住宅等の整備基準を定める条例

一部改正したもの

- ・周防大島町防災会議条例
- ・周防大島町災害対策本部条例
- ・周防大島町一般職の職員の給与に関する条例
- ・周防大島町立小学校及び中学校設置条例
- ・周防大島町障害者自立支援審査会の委員の定数等を定める条例
- ・周防大島町一般廃棄物処理施設の設置等に関する条例
- ・周防大島町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例
- ・周防大島町斎場条例
- ・周防大島町公共下水道設置及び管理条例
- ・周防大島町病院等事業の設置等に関する条例

規約の変更

- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び山口県市町総合事務組合規約
- ・山口県後期高齢者医療広域連合規約

変更したもの

周防大島町過疎地域自立促進計画

副町長に岡村春雄氏を同意

現岡村春雄副町長の任期満了に伴い、満場一致で再任の同意をしました。

任期は、平成25年4月1日から平成29年3月31日まで

平成25年度の新規事業と予算・概要

- 保育料同時入所2人目以降無料化事業・・・992万7千円
同一世帯の就学前児童が保育所に2人以上同時に入所している場合、保育料の負担は1人目のみ
- 保育所英語講師派遣事業・・・84万円
町内の全保育所を対象に英語教育を実施
- 障害児放課後クラブ事業・・・500万円
障害等により放課後児童クラブに参加できない児童を対象
- 適応指導教室事業・・・228万円
不登校の児童生徒を学校以外の施設での一時的受け入れや、相談活動を実施
- 大島農業担い手就農支援事業・・・240万円
大島柑橘支援研修を農協に委託し、農業の担い手の就農支援
- 地域防災計画整備事業・・・696万2千円
地域防災計画の見直し
- 津波ハザードマップ整備事業・・・497万7千円
津波ハザードマップの作成、配付
- 離島防災備蓄倉庫整備事業・・・2,358万4千円
有人4離島に防災備蓄倉庫及び防災備品を整備
- 消火栓設置事業・・・350万円
消火栓の整備
- 三ツ松東線道路改良事業・・・7,800万円
道路改良事業
- 我がまちスポーツ推進事業・・・51万6千円
ウォーキングを推進し、健康づくりに取り組む
- 起業教育研究センター事業・・・300万円
起業教育研究センターが行う人材育成業務の支援
- 長浦スポーツ海浜スクエア総合グラウンド
人工芝改修事業・・・1億8,769万9千円
グラウンドを人工芝に改修
- 観光プロモーション映像作成事業・・・941万4千円
周防大島の観光PR映像ビデオの作成
- 橋総合支所建設事業・・・1,340万円
橋総合支所の改築設計及び暫定的に庁舎として利用する旧日良居中学校の改修設計
- 姉妹島提携50周年記念チャーターフライト事業
・・・100万円
カウアイ島姉妹島提携50周年及び岩国錦帯橋空港開港1周年を記念して運航するチャーターフライト事業経費の一部を助成

平成24年度3月補正予算

(3/6提出分)

(千円)

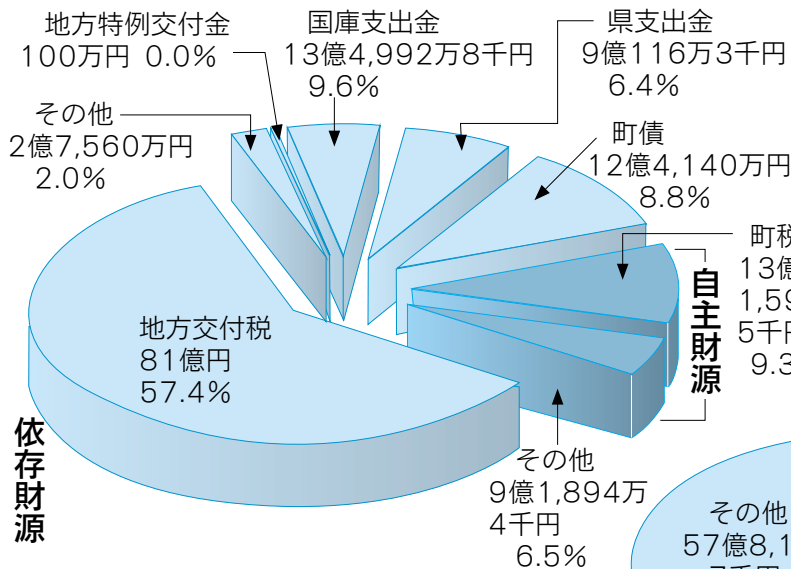
		増減	総額
一般会計		2億6,728万4	152億9,610万2
特別会計	国民健康保険事業	▲398万0	36億8,577万1
	後期高齢者医療事業	▲1,192万2	4億2,448万0
	介護保険事業	▲6,291万0	33億1,163万5
	簡易水道事業	338万1	8億6,710万5
	下水道事業	▲8,259万5	3億8,758万2
	農業集落排水事業	▲448万5	3億3,000万0
	渡船事業	33万5	7,776万7
公営企業局	収益的収入	▲2,191万8	46億6,041万8
	収益的支出	▲2,066万9	46億6,008万8
	資本的収入	▲2億5,038万5	20億7,090万9
	資本的支出	▲3億6,213万3	17億6,013万5

(3/22提出分)

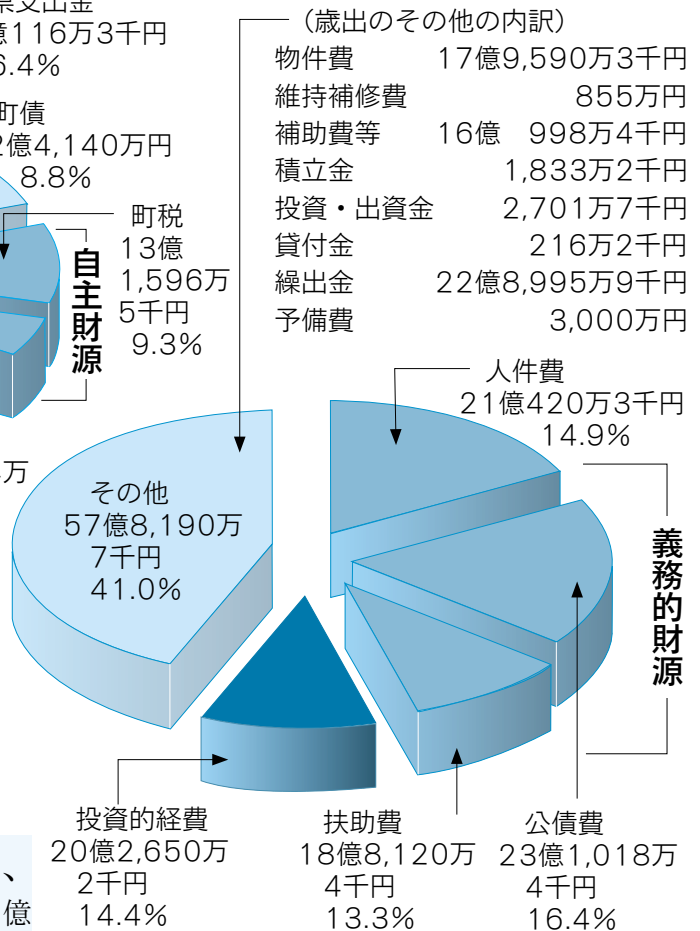
(千円)

一般会計	1,660万4	153億1,270万6
------	---------	-------------

歳入（自主財源と依存財源）



歳出（性質別）



平成25年度一般会計予算
141億400万円
前年度に比べて
2億1,600万(1.6%)の増

Eye&



一般会計予算では、総額で前年度対比2億1,600万の増となっているが、地方債では、一般会計と各特別会計を合わせた単年度の増減は、1億6,791万5千円の減となる。平成25年度末の残高は、一般会計で201億9,471万7千円、特別会計（含公営企業局会計）の残高は、167億5,409万2千円である。各特別会計を総額でみると、国民健康保険事業特別会計は、前年度比1.5%増の36億857万2千円。後期高齢者医療事業特別会計では、同3.9%減の4億2,499万1千円。介護保険事業特別会計では、同0.9%減の32億9,523万9千円。簡易水道事業特別会計では、同3.5%減の8億3,667万6千円。下水道事業特別会計では、同25.5%減の3億4,586万5千円。農業集落排水事業会計では、同0.4%増の3億3,202万5千円。漁業集落排水事業特別会計では、同8.9%減の3,225万1千円。渡船事業特別会計では、同8.9%増の8,396万2千円。

平成25年度公営企業局企業会計予算

収益的収入	49億4,962万2千円 (4.1%増)
収益的支出	54億5,332万9千円 (14.7%増)
資本的収入	23億9,557万6千円 (32.9%増)
資本的支出	24億4,491万9千円 (51.1%増)

◆各施設の指定管理者を決定◆

施設の名称	指定管理者	指定の期間
油宇集会施設	油宇自治会	H25.4.1～H26.3.31
小泊集会施設	小泊自治会	〃
周防大島町高齢者生活福祉センター和田苑	社会福祉法人周防大島町社会福祉協議会	〃
周防大島町高齢者生活福祉センターしらとり苑	〃	〃
むつみ荘	土居自治会	H25.4.1～H30.3.31

総務文教常任委員会審査報告

付託された議案は、いずれも可決すべきものと決定。委員よりの質議に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

委員長 田中隆太郎



総務課関係

総務課関係では、周防大島高校を支援する会の事業内容について、3年後の高校改編に合わせた活動に対しての補助は考えているのかとの質問に、平成24年度においては寮費や宿泊合宿への補助となっている。柔軟な対応をすべく学校の意見を伺う予定であるとの答弁。また消防団の再編を考えているのかとの質問に、分団を統合し少数精鋭での活動が良いのか、現状のまがが良いのか、結論には至っていない。検討はしていくとの答弁。

自治会長以外の地域住民も参加できるように懇談会の開催ができないのかとの質問に、地域によっては自治会長と行政連絡員が異なっているため、自治会長を含めた地域懇談会の要請があれば検討したい。また、政策企画課所管事業である「ワンテーマ・ディスカッション」で、対応していただきたいとの答弁

ン」で、対応していただきたいとの答弁

政策企画課関係

政策企画課関係では、起業教育研究センター補助金300万円が計上されているが、本気で人を育てる気であれば、5年間の島スクエア事業による起業者実績について、起業内容を含めて検証を行ない、新たな事業についても単年度で検証していくべきではないのかとの質問に、5年間について検証を行ない、新たな事業についても単年度での検証を行いたいとの答弁。

教育委員会関係

教育委員会関係では、陶芸の館の利用者数の動向、さらには、竜崎の陶芸の館と八幡生涯学習のむらの陶芸の館について統廃合は考えているのかとの質問に、利用者数は減少傾向であるが各施設とも利用者がおり、現在のところ統廃合は考えていな

いとの答弁。

民具の保存整理について、町教育委員会として町全体の民具資料の整理保存について考える時期ではないのかとの質問に、町文化財保護審議会では、民俗資料について何が必要か、何が必要でないか選択し、方向性を出す時期にきているとの意見が出されているとの答弁。

就学援助費を受ける人数は増えているのかとの質問に、小学校65人、中学校54人である。児童生徒数が減少しているので割合としては増えているとの

答弁。中高一貫教育の実施により、生徒の学力は上がっているのかとの質問に、中高一貫教育の実施で、生徒が力を発揮するいろいろな場面を設定できている。そういったことが、生徒の学力向上に繋がると考えるとの答弁。

請願第5号

周防大島町久賀歴史民俗資料館等指定管理者の選定方法の検証を求める請願書については、「閉会中の継続審査」とし、調査を継続すると決定した。



(総務文教常任委員会 2013. 3. 13)

民生常任委員会審査報告

付託された議案は、いずれも可決すべきものと決定。委員よりの質議に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

委員長 魚谷 洋一

福祉課関係

今年度の新規事業である障害児放課後クラブ事業については、現在の児童クラブとは別のところで実施するか。また、対象者は何人かとの質問に対し、別のところで実施する。現在の児童クラブで預けられない児童を対象にしており、対象者は5人であるとの答弁。保育士等処遇改善臨時特例事業交付金について、保育士1人あたりいくらのアップになるのかとの質問に対し、平均3・1%増であるとの答弁。

健康増進課関係

未熟児養育医療の自

己負担金は、世帯の所得階層区分D2を基に計上していると説明があったが、どの程度になるのかとの質問に対し、世帯の所得階層区分のD2とは、前年分の所得税課税世帯であって、所得税の額が1万5,001円から4万円の世帯で、自己負担金は月額1万6,200円である。前年度までの実績により所得階層区分をD2としている。しかし、ちびっこ医療制度により補填されるため、最終的に自己負担はないとの答弁。

国民健康保険事業特別会計

特定健診の受診率の

状況と受診率向上の具体策は考えているのかとの質問に対し、平成20年度の町の受診率は16.9%、平成23年度は町が0.5%、県平均が21.6%、全国平均が32.7%で、全国平均より大幅に低くなっているため、受診率を上げるために色々取り組んできた。例えば、日曜健診やがん検診との同時実施を行い、平成24年度からは平日の集団健診を実施し一定の効果を得ている。今後も色々な方法を考え受たいとの答弁。

後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療保険の加入状況はとの質問に対し、平成25年1月末現在、693人で、うち普通徴収が927人、特別徴収が4,766人であるとの答弁。

介護保険事業特別会計

介護保険料の特別徴収及び普通徴収の人数は何人で予算計上しているのかとの質問に対し、特別徴収が8,558人、普通徴収が647人で計上しているとの答弁。

介護予防支援事業のケアプラン作成委託の見込み件数はとの質問に対し、平成24年度は、1か月あたり90件であったが、平成25年度は1か月あたり110件を見込んでいるとの答弁。

公営企業局企業会計

やすらぎ苑の収支について、さざなみ苑と比較して赤字要因は何かとの質問に対し、老人保健施設は定員が50床の場合、ほぼ満床でも赤字になる。さざなみ苑（80床）はスタッフも増員されるため人件費は増加するが、30増床分の収益増加の割合が大きいため、予算上では黒字を見込んでいるとの答弁。

また、石原公営企業局管理者より、公営企業局は、常日頃より周防大島町3病院、2老健施設、大島看護専門学校、4居宅介護支援所、1看護訪問ステーションおよび検診事業を維持することにより周防大島町民の医療・介護・福祉の充実を目指している旨の報告があった。



(民生常任委員会 2013. 3. 13)

建設環境常任委員会審査報告

付託された議案は、いずれも可決すべきものと決定。委員よりの質議に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

委員長 松井 岑 雄



商工観光課関係

観光プロモーション映像の作成後の活用及び町外の方への配布は、との質問に、15分ものと5分ものを作成して、各種イベントでの紹介や希望者へ配布することを検討しているとの答弁。

星野記念館をPRしたいが、実際にはどのような企画をPRしているのか、又、全国の旅行代理店や関係者を対象としたイベントがあると思うので、そこで紹介してはどうか？との質問に、県が行なうイベントや体験型修学旅行の営業に併せて行っている。全国の旅行代理店等のイベントでの紹介については、今後の検討課題としたとの答弁。

観光協会の人件費内訳で職員は何人いるのか、又、収支の監査は町が行っているのかとの質問に、人件費については正規3人、パート1名となっている。

観光協会は法人組織なので、法人としての内部監査を行っており、余剰金が生じた場合には、基本的には総会を経て、次年度繰越処理を行っているとの答弁。

農村課関係

団体営ため池整備事業で樋の口ため池が町内最後の事業になる。しかし集落の山中には貯水危険ため池が沢山ある。これらの貯水制限等についてはとの質問に、地元所有者と話し合い、調査の上で指導も考慮したいとの答弁。

イノシシ（猪）対策はとの質問に、捕獲技術は向上している。本年度は合計950頭（3月末で）捕獲となる。生態調査はしていないが、自然増となるのではとの答弁。

大島農業担い手支援事業とはの質問に、JAに委託し新規就農者の研修。営農塾の圃場管理や講習会に参加。未経験者でもOK！と

の答弁。

水産課関係

漁港漁場機能高度化保全計画の実施箇所はとの質問に、25年度は安下庄漁港と日良居漁港の2ヶ所を実施するとの答弁。

建設課関係

住宅リフォーム補助金と利用実績はとの質問に、対象工事費は10万以上で、補助金上限も10万円である。3月13日現在申請件数は290件。補助対象予定額は、1,734万円であるとの答弁。

上下水道課関係

浮島地区の今の施設



（建設環境常任委員会 2013. 3. 13）

は塩分濃度が多いので、塩化物イオン濃度浄化装置を設置。下水道の加入率が悪いとの質問に、単独浄化槽を今も使用している家庭が多く維持管理費は集落配水の方が安い。時間と共に加入者は増加する傾向であるとの答弁。

生活衛生課関係

町営住宅入居者の中で、5年以上も滞納。明渡し請求か支払督促提出はとの質問に、明渡し請求から退去させられた低所得者には住む所がないと云う問題があるので、近隣市町とも相談し検討するとの答弁。

一般質問 ここが聞きたい!! 2名が登壇

投票率の下降を食い止め、高齢者にも優しい投票所をめざす。

今 元 直 寛 議員

問 本町の投票率は。

答 若年層以外は国政、地方選挙を問わず投票率は高い。若年層の選挙離れを食い止める方策が課題である。

問 土足で直接入れない、車椅子で入るためのスロープがないなどお年寄りや身体の不自由な方々には不便を強いている投票所が多く存在している。

答 投票所の数は県下でも有数の多さである。又、スロープ、手すり等の設置で投票環境整備を図ってきている。さらに地元からの要望があれば設置していきたい。なお、「期日前投票所」は土足で入れるし、バリアフリーに

なっているのでお年寄りや身体の不自由な方は是非こちらの利用をお願いしたい。

問 投票所までの足（送迎バス）の確保は考えていないのか。

答 利便性を考え、より身近な所に投票所を設置している。他の自治体では送迎バスを運行している所もあるが、本町では今のところ考えていない。



原発の安全神話再来ストップ

広 田 清 晴 議員

問 原発廃止の願いは民主党政権下消極的目標とはいえ「2030年代廃止する」との目標設定を掲げた。しかし自民党安部政権が誕生後、原発廃止問題は「0ベースで見直す」とし、安全安心を願い原発廃止を願う多くの国民に危惧、失望を与えた。町長は原発建設・再稼働反対の立場が大事。

答 議会決議で示された「上関原発は安全性が確認されなければならない。既存の原発再稼働についても総点検を行う」との明記があり、安心安全の町づくりを目指す私の立場は一緒と考えている。

問 福島原発の事故原因が明らかでない中、国の安全基準を作ることが過去の「国の安全

だと言ったから安全」との「安全神話」の繰り返しではないか。

答 安全基準に想定外があってはならないし、福島第一原発事故の原因究明がされた上で安全性がしっかりされるべきだと考えている。

問 やすらぎ苑（老人保健施設）の30床の増床は収支の改善からも必要。

答 施設の建設は民間でおこなう計画があったが辞退があり、昨年7月に会議を立ち上げた。増床で年間3,000万円の収支改善があるが、土地が狭い等困難、さらなる検討が必要。



公共施設視察研修報告

新商品開発や施設改修で今後に期待！ グリーンステイ長浦

3月18日、サタフラのステージとしても馴染みのあるグリーンステイ長浦を視察研修した。この施設は、町の指定管理施設で、平成23年度の合計利用数は84,732人。ここでは、スポーツ合宿の誘致・ハワイ関連の事業に経営の重点を置いている。宿泊部門・潮風呂部門・レストラン部門・スポーツ部門・販売部門の5部門あり、それぞれに経営方針が設けられている。販売部門では、地元産品やハワイ関連商品の他、今年はハワイのカウアイ島との姉妹島提携50周年ということで、記念商品の開発を計画している。潮風呂部門では、平成23年度の利用者数は63,131人で、地元の人を中心に親しまれている。スポーツ部門では、スポーツ合宿に力を入れており、テニス、アーチェリーなどの学生の合宿が多く、県内だけでなく福岡県など

県外の招致にも力をいれている。

また、今年度、グラウンドの芝生を全面人工芝には

りかえ（総工事費約2億円）が予定されており、これにより冬場の養生期間もグラウンドが使えるので、冬場のサッカー合宿の誘致も視野に入れている。レストラン部門では、年々収入が下がってきていることが課題であり、名物料理の開発などを重要視している。



（長浦総合グラウンド）

視察研修報告 議会広報編集特別委員会

日程 平成25年2月6日～7日

研修地 岡山県里庄町・岡山市

今回の研修は、新たな委員会構成となり、紙面づくりや印刷から配布までの状況について研修を行なった。また、事前に、議会広報完成までのながれについて等の6点について、研修先に事前連絡をし、主な研修内容とした。

里庄町では、4人の委員で構成され、読みやすい広報にこだわっており、広報完成までに約30日かかる。その間、6回程度の委員会を開催し、原稿作成などは自宅での作業となり、委員の負担は大きい。広報委員になり手がいないのが現状であるとの本音も。

岡山市議会では、ほとんど職員が作成し、出来上がったものを議会運営委員会で最終チェックしている。インターネット中継は最近始めたもので、中継には、職員が携わっている。経費は、5ヶ月間で約100万円程度。また、市を

PRするマスコットキャラクターが紙面に登場しており、非常に好感を覚えた。周防大島町議会広報紙でも、是非登場させたいものである。

以上、今回の研修を糧に、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、議会の内容を住民の方々へ幅広く公開する義務、知る権利を原点に読みやすく、わかりやすい議会広報の発刊を目指す。



◀ 里庄町

岡山市 ▶



特別委員会 防災

地域に合った 防災・減災対策に向かって

防災対策特別委員会委員長 尾 元 武

昨年12月本委員会が設置され、防災についての調査・研究をすることになった。南海トラフ地震の被害推計も夢想だにしないほど大幅に見直された今、防災に対する思いを書き綴る中にも、東日本大震災の記憶が風化することなく、何かの一助になればと祈るばかりだ。

さて、大きな災害には「地震・津波」「風水害」「土砂災害」があるが、まず自分は大丈夫と被災することを人ごとのように思ったり、万が一被災しても誰かが助けてくれるでしょうは大きな思い込みだ。平素から非常時に備えて自分自身を守る体制（自助）・また自主防災組織等の地域住民が自主的に連帯して防災活動が行なえる体制づくり（共助）の意識とその準備は不可欠と思う。

「天災は忘れた頃にやって来る」との諺があるが、今や「天災は忘れる間もなくやって来る」が正しいのかも知れない。過疎化・高齢化に拍車のかかる本町ではどのような対策を進めるべきか地域ごとに地理的条件、生活環境等の状況が違っている。台風などの予測可能な災害であれば準備もできるが、地震は明日かもしれない、いつ起きるのか、夏なのか冬なのか、また夜中なのか昼間に発生するのかその時間帯に



（防災対策特別委員会 2013. 3. 18）

よっても対応は大きく変わる。このような状況の下、地域ごとの内情を詳しく知っているのは地元議員であり、地域ごとの対応を提言できるものと自負している。

対策を行なう執行権は議会にはないが、町担当課と両輪となって非常時に備えた調査・研究が防災・減災に繋がるような結果になるようにと8人の委員ともども頑張っています。故事に「居安思危 思則有備 有備無患」安きに居りて危うきを思う「備えあれば患いなし」どこまでも、「自分の命は自分で守る」を大前提にいざという時に備えたい。

皆さんのご意見もお聞かせ頂ければ幸いです。安心安全な町づくりに向かい研鑽を積んでまいります。

地域活性化特別委員会報告

地域活性化特別委員会委員長 今元直寛

当委員会に付託された「地域資源を活用した人口定住の促進」の調査・研究するにあたり、人口定住で最も必要な条件としては、移住先での住居と安定した仕事の確保であると考えている。

その点について、既に本町に移住し生活をされ

ている方々に、動機、現在の生活状況や諸々な問題点など聞き取り、今後の参考にしたい。

また、今までに執行部ではどのような取り組みをしてきたか、さらに、民間に於いてはどのような活動をしてきているかなどを検証し、委員会としての指針を示していきたい。

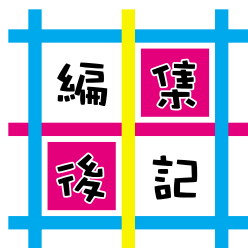
また、先進地への視察研修や、各方面の専門家及び有識者の方々との意見交換など効果の上がる委員会にしたい。

工事請負変更契約の締結

契約の内容目的	契約の方法	変更契約の金額	契約の相手方
平成24年度周防大島町立東和中学校屋内運動場耐震改修工事	随意契約	6,709万800円 (原契約 6,420万7,500円)	藤川建設株式会社
周防大島町立久賀中学校校舎機械設備工事	随意契約	7,469万700円 (原契約 7,266万円)	株式会社大島電機
平成24年度橘斎場改築工事	随意契約	1億7,802万8,550円 (原契約 1億7,699万8,500円)	株式会社神田建設

議員派遣

行事内容	日程	開催地	目的・参加議員
東京大島ふるさと会	5月25日	東京都	会員との情報交換 今元直寛



左から、濱本 康裕
田中隆太郎
平野 和生
魚谷 洋一
平川 敏郎
松井 岑雄

橘斎場のリニューアル営業が、4月3日から始まった。葬儀・火葬時間については議会と執行部で、色々議論した

結果、今回の時間割となった。何はともあれ周防大島町の住民の皆様にとっては便利になったのではないかと思います。



今月から登場した
マスコットの
みかキン・みかトトです。
よろしく！



議会広報・議事録はインターネットで公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館へは
議事録を備えています